

地震から命を守る

コープみらいは、地域の方々と一緒に暮らしを豊かにするために、食育や環境、防災・減災などについてともに考え学び、これからの行動につなげることを大切にしています。



近年、日本でも世界でも大きな地震が発生しています。いつ起きるか分からない地震に対して、備えはできていますか。過去に起きた地震から命を守ることを学び、自分の身に置き換えて災害時の備えを考え行動しましょう。



【阪神・淡路大震災】
火の手があがる神戸市内
(写真提供:コープこうべ)

「地震に備える」

住まいの安全対策

大きな地震が起きたときに、家や家具の下敷きにならないように備えておきましょう。

阪神・淡路大震災で亡くなった方の8割以上は、家屋の倒壊や家具の転倒による圧死や窒息死でした。家屋の倒壊により道路がふさがれ、避難や緊急車両の通行を妨げてしまうこともあります。

●1995年阪神・淡路大震災当時の状況 (被災された方の声)

タンスの下敷きになり、足がなかなか抜けませんでした。ガスが充満し、早く外へ出なければと必死でした。階段の戸を開けようとしても開かず、倒れた家具を踏み越えて窓へ行き、カーテンを外して窓枠に結び、2階から脱出しました。

立ち上がれる状態ではなかったので布団をかぶって揺れが収まるのを待った。木造2階建て住居が全壊し、1階で下敷きになりましたが、2時間ほどかかって無事救出されました。

洗濯機の脱水機の中でこね回されたような感じでした。

家具の転倒・飛散防止

固定する

家具を転倒防止器具などで固定する。

配置を換える

家具の配置や向きを変え、寝ているときに頭の上に倒れてこないようにする。

飛散防止

開き戸が開かないように金具をつける。
飛散防止フィルムを貼る。

固定する

大型家具などは、端、はり、壁などに金具で固定する。

自宅の耐震化

県内各市町村で、無料相談窓口や耐震化の耐震診断補助事業を実施しています。

簡単な自己診断コンテンツで耐震診断してみよう ▼



「誰でもできるわが家の耐震診断」
(国土交通省住宅局監修、財団法人日本建築防災協会編集)

もしものときにとれる行動を知っておこう

地震は、いつ、どこで起きるかわかりません。

地震が起きたら、その時にいる場所に合った行動を取るようにしておくことが大切です。

【在宅時】

- ★まず、身の安全を確保。慌てて外に飛び出さない。
 - ★地震が落ち着いたら火の始末、出口の確保。
 - ★ブレーカーを切って安全な場所へ避難。
 - ★防災リュック (非常用持ち出し品) は、いつでも持ち出せるように用意しておき、揺れが落ち着いたら持って外に出る。
- ※阪神・淡路大震災では、古い木造家屋の密集地を中心に大規模な火災が発生。その6割が通電火災!



【外出時】

- ★建物の中にいるときは、頭を保護して係員の指示を待つ。
- ★屋外ではカバンや上着などで頭を保護し、建物やブロック塀などから離れる。
- ★安全が確認できるまで家には戻らない! お金や荷物を取りに戻ると、余震で家の下敷きになったり、火事に巻き込まれたり、津波が来るおそれがあります。

日ごろから家族と避難方法や連絡方法を話し合っておきましょう。

参考資料: 自然災害に備える
~こうべ&みやぎ・ふくしまからのメッセージ~

地震への備えに関するアンケートにご協力ください (3/20まで)

今後の企画や学習会の参考にさせていただきます。



豆知識 津波に関する標識



津波注意 (危険地域) マーク
地震が起きた場合、津波が来る危険が高い地域



津波避難場所マーク
津波に対して安全な避難場所・高台



津波避難ビルマーク
周りに高台がない場合に利用する、津波から避難できる、高く丈夫なビル



【東日本大震災】
防潮林をなぎ倒し、集落に襲いかかる津波
(写真提供:仙台市)

問い合わせ

コープみらい千葉県本部 参加とネットワーク推進部 TEL 0120-925-036 9時~17時 (土・日・祝日休み)

お詫びと訂正

過去にご案内した活動お知らせブログ「ほべたん通信」は都合により見られなくなっております。申し訳ございません。現在は、下記URLよりご覧いただけます。お詫びして訂正いたします。

<https://coopmirai-ktdb2.cocolog-nifty.com/blog/>

ほべたん通信ブログこちらから ▶

